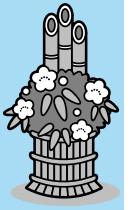


平成16年 年頭にあたって 新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます

薩摩町長 山口 昭幸

皆様方には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、町政全般に対しまして温かいご支援とご協力をいただき、誠に有難うございました。心より深く感謝申し上げます。
ところで、昨年町内においてはサッカーリーグ柏レイソルの「GR京セラ」での春季キャンプ開催を始め、一回り大きく設備内容の充実が図られた薩摩中学校屋内運動場の完成、農業面では前途有望な3名の新規就農者が誕生されるなど明るい話題に沸きました。

しかしながら、異常気象により水稻や梅など農作物の収量は減少し、農家にとっては厳しい年となりました。

また、一向に回復の兆しが見えないこの不況下にあつて、町においても国・県の財政危機をもろに受け交付税などの交付金が大きく削減されるなか、昨年4月には薩摩町、宮之城町、鶴田町の三町による薩摩東部地区合併協議会が発足し、平成17年1月の合併に向け毎月協議がなされており、新町名も「さつま町」と確認されています。

11月には、町内全集落において合併住民説明会を開催してまいりましたが、新町の各種の行政施策やサービスがどうあるべきかということを理解し、三町で新しい町づくりに向けて取り組んでいかなければならないと思います。

さて、本年は薩摩町町制施行50周年の節目の年となります。

第4次総合振興計画の後期計画を基本に、町民の意見・要望を充分に取り入れながら、道路網の整備や水道事業給水区域の拡大などの生活環境基盤は勿論、高齢化に対応した保健・医療・福祉施策の充実、農林業や商工業、観光など産業の振興、生涯学習など教育の充実に努め、更なる町の発展に全力を傾注する所存でありますので、本年も皆様方の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

最後に、町民皆様方のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成16年元旦